

二〇二四年度

トキワ松学園中学校入学試験

**国語第一回**

問題用紙

受験番号

開始と同時に受験番号を  
書き入れなさい。

次の①～⑤の——線のカタカナを漢字に直し、⑥～⑩の——線の漢字は読み方をひらがなで答えなさい。

- ① 混乱をシユウシユウする。
- ② 乗り越し運賃をセイサンする。
- ③ 多くのことにキヨウミを持つ。
- ④ サバキを受ける。
- ⑤ 体力をヤシナう。
- ⑥ 有意義な時間にできた。
- ⑦ このような風潮はよくない。
- ⑧ 米が豊作になった。
- ⑨ ここから正念場をむかえる。
- ⑩ 著しい成長がみられる。

二 次の問いに答えなさい。

問一 次の〓線1「らしい」、2「の」の働きと同じものを、それぞれ次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

1 有名人が来るらしい。

- ア 学生らしい服装をする。
- イ ここに新しい家が建つらしい。
- ウ この犬はとてもかわいらしい。
- エ めずらしい本を手に入れた。

2 花の美しい季節となった。

- ア 家のドアを閉める。
- イ 甘いのが好きだ。
- ウ 机のうえに本を置く。
- エ 月の明るい夜に出かける。

問二 〜〜線㉠㉡の言葉の意味として最もふさわしいものを、それぞれ次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

(1) 私は発表会で失敗してがっかりしていた。休憩時間けいに、担任の先生と会った。このとき、私は自分をみじめおに思い、と同時に、熱心に指導してくださった先生には「申し訳ない」と思った。私は息もつかずいに、ありとあらゆる言葉をさがして先生に謝ろうとしたが、そんな私を見て先生は言葉ことばをさえぎると話を始めた。

(2) 日本では、他人の前で自分のことを低い者としていうことが美德えいとされている。それは、人間のおごる心おごるこころを注意するためにあるのだろう。

㉠ みじめに思い

- ア かわいそうに思い
- イ 激しいかきを感じ
- ウ しつかりと反省し
- エ なさげなく思い

㉡ 息もつかず

- ア ひとやすみしてから
- イ 休まず続けて
- ウ 長く続けることができずに
- エ しばらく息をせずに

⑤ 言葉をさへぎる

- ア 言葉を最後まで強くはつきり言う
- イ 言葉の意味が分かるようにする
- ウ 言葉の途中とでじゃまをしてとめる
- エ 言葉を最後まで続けることができない

⑥ 美德

- ア 得な行動
- イ 損ぞんな行動
- ウ 良くない行い
- エ 立派な行い

⑦ おしる

- ア ほめる
- イ 思い上がる
- ウ ばかにする
- エ うらやましく思う

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(問いの下の数字は、本文での行数を示します)

のどがかわいたときに飲む水は、おいしくてたまりませんね。夏の暑いときに水で遊ぶ楽しさや気持ちよさも、これまた格別です。水がわたしたち生き物にとって一日でも欠かせないものであることは、だれもが知っています。

1、人間はごはんを食べられなくとも水と睡眠すいみんさえ取れば2～3週間は生きられますが、もし水が飲め

ないとすると、4～5日で死んでしまいます(2～3日とする説もあります)。

そして、2020年から世界中にふきあれている新型コロナウイルス感染症しょうあつしの嵐で、すっかりおなじみになった手洗い・うがいにも、きれいで安全な水が必要です。きれいで安全な水に困ることは、現在の日本では日常的にはありません。(あ)

2、命に欠かせないこの水が、反対に命をうばうことがあります。洪水こうずや土砂しくずれは水によって起きる災害です。急激かつ大量に降った雨によって引き起こされるこれらの災害で、多くの人が亡くなったり、住宅が被害ひをうけたりしています。(い)

わたしたちは家や学校で、水を水道から使っています。

ダムや川から水を取る取水場があり、安全に飲めるようにきれいにする浄水場じょうずがあります。次にきれいにした水を貯めて各地に配る配水池があり、そこから配水管や給水管を通してわたしたちのもとへやってきます。わたしたちの使う水はダムや川がおおもとのように見えます。(う)

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

3

、ダムや川の水はどこから来るのでしょうか？ 水の出発点はどこにあるのでしょうか？

地球上にある水は、海、湖、池、川、目に見えない大気中の水蒸気や雲、そして地下水などにわけられます。この中でも【一】のしめる割合は圧倒的に大きく、地球にある水の約97%が【一】です。雪や氷が約2%。湖、川、地下水、水蒸気は全部合わせても1%に満たないのです。(え)

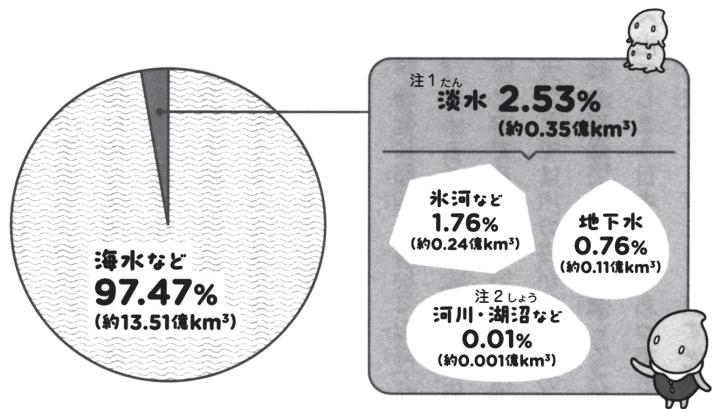
4

①、水①の一番の特徴は、<sup>ちやうど</sup>、どんどん姿を変えて動いていくことです。姿を変えながらぐるぐるめぐめる水は、どこが始まりかは決められませんが、海から出発して追いかけてみましょう。

気温が高くなると、水は水蒸気という気体になります。海水が温まると水蒸気がつぎつぎにのぼっていき、上空で雨雲が生まれます。水蒸気が冷えると再び液体の雨に、もっと冷えると雪に変わります。こうして、主に海から空へ移動した水は雨や雪として地表へと落ちていきます。(お)

陸に降った雨は、土にしみてさらに地下にしみこんでいくものと、土にしみこまずに地表を流れて川などに入るものとに分かれます。海や湖や川に降れば、そのままそこにあった水と合流します。川の水は、最後はまた海にもどります。こうやって姿を変えながら地球上をめぐる水を、途中のひととき、わたしたちは飲んだり、いろいろなものを洗った

図 1



出典：「World Water Resources at the Beginning of the 21st Century, UNESCO, 2003」より環境省が作成したもの

り、流したり、さまざまな場面で使わせてもらっています。わたしたちが使った水も、かならずまたわたしたちのもとをはなれてふたたび水の旅に出ています。つまり、地球をめぐる水は、そのときどき姿を変えながらいたるところに存在して、永遠にリサイクルされている、というわけです。

② わたしたちの水道の水がダムや川から取られるならば、雨や雪がダムや川にたくさん降ると、使える水は増えるはず  
です。ですが、話はそう簡単ではありません。

ダムも川も、それぞれに「水が入る、あるいは流れる容量」に限界があり、いくらでも受け入れられるわけではないからです。その容量をこえる雨が降るとあふれます。ダムは、大雨のときは貯めこんだ水を放流してあふれないように調整します。それでも間に合わないときは、河川敷が水を受け止め一時的に川幅を広げることで、災害にならないようにします。

③ そして、日本の独特の地形が、この雨・雪とダム・川に大きな影響をもたらしています。独特の地形というのは、海に囲まれた細長い国土の7割近くが山であるということです。

日本の山は険しいうえに、そこに大小合わせて3万本以上の川があります。細長い国土の島国ですから、海にいたるまでの距離がヨーロッパや中国などの大陸とくらべるととても短いのです。平野部ではゆったりとした流れに見えますが、険しい山を流れる川は急流です。雨がたくさん降っても、この短く速い流れで、海にすばやく出てしまいます。一方、大陸にある国々の川には、日本とくらべものにならない長い距離を、いくつもの国をうるおしながらゆったりと流れるものがたくさんあります。川の長さが短いと、その分流れる水の量も少なくなります。となると、人間が川から利

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46



用できる水の量も限られてしまいました。

江戸時代に鎖国さこくを解いて以降、ヨーロッパから多くの研究者、技術者を日本に呼びました。<sup>④</sup>ヨーロッパの土木の専門家たちは、日本の川を見て「これは川ではない、滝たきだ！」とおどろいたという話が伝えられています。それくらい、日本とヨーロッパのような大陸とでは川の姿がちがうのです。

気候の変化で集中的に激しくたくさん雨が降るようになった最近では、すばやく海へ出てしまふ日本の川であっても、対応できないことが増えています。あふれ出した泥水どろが濁流だくとなり家をおし流す光景は、毎年のように日本のどこかで見られるようになってしまいました。

貯めて使えれば日々欠かせない大切な水ですが、<sup>⑤</sup>反対に川の氾濫はんらんや土砂災害を起こすときにはおそろしく破壊はかい的になる水。雨や雪の降り方を人間がコントロールすることはできませんが、命をつなぐ面と破壊をもたらす面という、相反する二つの水の顔に、大きな影響を持つ存在が、じつはあります。

森です。

日本の国土の7割近くをしめる山はほぼ森におおわれているため、日本では「森」と「山」はほとんど同じ意味で使われています。日本の森林面積は約67パーセントなので、7割近くと言われる山とだいたい同じになります。標高が高くなると木々が生えない「森林限界」と呼ばれる場所になるために、岩肌はだなどがむき出しになります。それ以外は森におおわれているのが日本の山の特徴です。

森に降った雨や雪は、林床りんしょう（森の地面）にしみこむことでゆっくりと、いろいろな場所から長い時間をかけてふたた

62

61

60

59

58

57

56

55

54

53

52

51

50

49

48

47

びわき出してきます。

このように森は、使うための水をより多く貯める働きをしてくれれます。それは同時に、地上にあふれ出す水が減ることになるので、災害も引き起こしにくくなるという、<sup>⑥</sup>二つのプラスの働きをしてくれるのです。

ちなみに、アスファルトにおおわれた都市に降った雨は、地中にしみこむことはできません。道路の側溝（ぞうこう）から雨水管に集まり、川や海へ流れていきます。いま、都市や住宅街で洪水が起きるのは、以前よりも短い時間でたくさん量の雨が降ることによって、側溝や雨水管の容量をこえてしまうことが一つの原因とされています。アスファルトなどでおおわれて土がほとんどなくなった都市では、森のように雨を地下に貯める力がとても小さいからです。

（浜田久美子「水はどこからやってくる？ 水を育てる菌と土と森」問題作成のため一部改変しました）

注1 淡水（たん） ……塩分をふくまない水。

注2 湖沼（しゅう） ……湖と沼（ぬま）。

63

64

65

66

67

68

69

問一 空らん 1 4 に入る言葉として最もふさわしいものを次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えな

さい。(3、8、15、21)

ア さて                    イ 一方                    ウ では                    エ たとえば

問二 次の文章は本文中のどこに入りますか。本文中の(あ)～(お)から一つ選び、記号で答えなさい。

(7、10、14、20、27)

とくにこの数年は、世界でも日本でも、これまでにない豪雨ごううや豪雪が増えました。気候変動の影響えんきょうで、災害の頻ひん度と規模は以前よりも大きくなっています。ゲリラ豪雨や線状降水帯(ほぼ同じ場所につきつきとできて線状になり、集中して長い時間雨を降らせる雲の一群)などのニュースをヒヤヒヤしながら見るのも、めずらしいことではなくなりました。水は生きるために欠かせないと同時に、命をうばうような災害にもつながるため、わたしたちの存在の根本に深く関わっています。

問三 図1を見ながら、空らん【二】に入る言葉を本文中から漢字一字でぬき出して答えなさい。(18・19)

問四 —— 線①「水の一番の特徴は、どんどん姿を変えて動いていくことです」とありますが、水が「姿を変え」るときに条件を十字以内で答えなさい。(21)

問五 —— 線②「わたしたちの水道の水がダムや川から取られるならば、雨や雪がダムや川にたくさん降ると、使える水は増えるはずですが、話はそう簡単ではありません」とありますが、なぜ使える水が増えるとそう簡単には言えないのですか。理由を説明しなさい。(34・35)

問六 —— 線③「日本の独特の地形が、この雨・雪とダム・川に大きな影響をもたらしています」とありますが、「日本独特の地形」が川にもたらす影響はどのようなことだと述べていますか。正しいものを次のア～オから二つ選び、記号で答えなさい。(40)

ア 日本独特の地形とは山のことであり、険しい山を流れる川は急流である。

イ 日本独特の地形によって川の数が増え、日本を流れる水の量は非常に多い。

ウ 日本独特の地形によって滝の数が増え、多くのヨーロッパ人を喜ばせている。  
エ 日本独特の地形とは山のことであり、険しい山を流れ下る水で災害が多い。  
オ 日本独特の地形によって雨がたくさん降っても、海にすばやく出てしまう。

問七 —— 線④ 「ヨーロッパの土木の専門家たちは、日本の川を見て『これは川ではない、滝だ！』とおどろいた」とありますが、なぜ「ヨーロッパの土木の専門家たち」は日本の川を見て「滝だ」と思ったのですか。本文中の言葉を使ってヨーロッパと日本を比べながら理由を説明しなさい。(48・49)

問八 —— 線⑤ 「川の氾濫や土砂災害」とありますが、現代の都市で「川の氾濫や土砂災害」が起きるのはなぜですか。理由を説明しなさい。(54)

問九 ———線⑥「二つのプラスの働き」とはどのようなことですか。それぞれ答えなさい。(65)

問十 本文の内容として正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア わたしたちが飲む水の出発点はダムや川であり、浄水場の役割が重要である。

イ 陸に降った雨はすべて地表を流れて川に入っていく、最後は海に流れ込む。

ウ 最近では集中的に大量の雨が降り、すばやく海へ出てしまう川でも対応できないことが増えた。

エ 森に降った雨は木の根を伝って川や海に流れていくことで、災害を防いでいる。



